

平成23年4月25日現在

研究種目：基盤研究（C）
 研究期間：2007～2009
 課題番号：19520065
 研究課題名（和文）
 キリスト教教育の日本における変容－教育を媒体とした外国修道会の影響を中心に
 研究課題名（英文）
 Transformation of Christian Education in Japan - influence of foreign missionaries
 and religious orders
 研究代表者
 佐々木 裕子（SASAKI HIROKO）
 白百合女子大学・文学部・准教授
 研究者番号：60286888

研究成果の概要（和文）：

日本におけるキリスト教教育の中でも、主として外国修道会を母体として発展してきたカトリシズムにおける教育実践について、基礎的調査・研究を行った。修道会会員の急速な減少などによって散逸しつつある資料を収集・整理すると共に、母体である修道会とそれらが関わる教育実践や地域との関係について、また、新しい時代を迎え、それらの学校の新しい担い手の養成の課題への対処の仕方が、教育実践及び教育内容の変化をもたらしていることが明らかになった。

研究成果の概要（英文）：

This is a fundamental research on Christian education in Japan, especially, Catholic education, which grew under the influence of foreign missionaries and religious orders. The main materials and historical documents concerning of Catholic schools and religious orders connected with those schools in Japan were collected for further research, which has becoming more difficult to obtain with decrease of the members of religious orders. The relations of Catholic schools and religious orders were considered especially with attention of the relations of educational activities in those schools and spirituality or mission statement of religious orders. Also it became clear that change of formation of new successors of those schools with the drop of the numbers of religious orders influenced on educational activities and contents of those schools.

交付決定額

(金額単位：円)

	直接経費	間接経費	合計
2007年度	1,700,000	510,000	2,210,000
2008年度	1,300,000	390,000	1,690,000
2009年度	500,000	150,000	650,000
年度			
年度			
総計	3,500,000	1,050,000	4,550,000

研究分野：人文学

科研費の分科・細目：哲学・宗教学

キーワード：①カトリシズム ②宗教教育 ③修道会

1. 研究開始当初の背景

日本におけるキリスト教教育の中でも、カトリシズムの学校教育、とりわけ、修道会を母体としたカトリシズムに基づく教育については、従来、殆ど調査・研究がなされてこなかった。昨今の急速な修道会会員の減少などにより、その歴史的な資料などが散逸しつつあることから、我が国におけるキリスト教教育の中で外国修道会が関わった教育に関する基礎的な資料収集・整理、及び世代交代期にあるそれらの教育実践の変容のかたちを、関係資料収集・整理と共に実態調査を伴う形で行う必要があると考えた。

2. 研究の目的

従来、一枚岩のものとして考えられがちであった日本における修道会を母体とした教育実践を、世界宗教としてのカトリシズムが日本に導入された際の文化接触における変容のかたちという視点からとらえなおし、教育修道会とそれがかかわる教育実践の全体像及び日本におけるその変容を明らかにしていくための基礎研究を目指した。

3. 研究の方法

- 1) 修道会会員の減少などに伴い、散逸しつつある基礎資料・教材等の収集及び整理
- 2) 修道会による教育の海外における実践についての調査
- 3) 修道会立の学校において宗教教育を行っている担当教員との面接及びアンケート調査
- 4) 修道会をめぐる変化に伴い、宗教教育の新しい担い手の養成に関する資料収集及び面接調査

4. 研究成果

- 1) 日本における修道会立学校に関する基礎資料・教材等の収集と整理
- 2) 修道会を母体とする学校教育と、その母体である修道会の創立の精神に関する理解の変化が、教育実践に関しても影響を及ぼしていることが明らかになった。
- 3) ただし、その場合においても、地域性や歴史的背景などが教育実践に多様性を与えていることがわかった。
- 4) 時代の急速な変化に晒されている、修道会を母体とする教育がその新しい担い手の養成において直面している課題を整理した。

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計9件)

① 星野正道、初等音楽科指導法平成20年3月28日改訂小学校学習指導要領に基づく音楽表現と言語表現の関連の考察、白百合女子大学初等教職課程論集、査読無、2巻、2010、pp25-40

② 星野正道、カトリック学校の建学の精神を根底で支えているもの、そよかぜーカトリック学校宗教教育交流誌、査読無、92巻、2010、pp4-5

③ 夏秋英房、宮川八岐、学生の集団・自然体験に関する一考察～2009年度総合講座の学生アンケートの分析を中心にー、國學院大学人間開発研究、査読無、第1号、2010、pp78-85

④ 星野正道、「光を見つけよう」、仙台白百合女子大学カトリック研究所論集』、査読無、14巻、2009、pp1-5

⑤ 片山はるひ、宗教教育における『物語』の役割、カトリック研究、査読有、26号、2009、pp. 1-13

⑥ 星野正道、なぜいやしが教会でおきにくいのか、福音と世界、査読無、6巻、2008、pp10-14.

⑦ 市川誠、The Establishment and the Development of Religious Education in the Philippine Public Schools:1900s-1950s、立教大学教育学科研究年報、査読無、51巻、2008、pp21-34.

⑧ 佐々木裕子、日本におけるキリスト教系学校の教育、国際宗教研究所・現代宗教2007、査読無、7巻、2007、pp105-126

⑨ 市川誠、フィリピンの公立学校における宗派的な宗教教育ー制度展開への宗教団体の関与ー、国際宗教研究所・現代宗教2007、査読無、7巻、2007、pp140-163

[学会発表] (計5件)

① 片山はるひ、宗教における「物語」の

役割、カトリック教育学会、2008年9月6日、南山大学

②片山はるひ、幼な子の幸いー希望の霊性、上智大学神学講座、2008年8月2日、上智大学

③佐々木裕子・夏秋英房、カトリック学校における宗教教育の実施状況と課題ー学校管理者へのアンケート調査を通してー、日本カトリック教育学会、2007年9月8日、上智大学

④片山はるひ、『人間学』としてのキリスト教教育、キリスト教学校教育懇談会第五回シンポジウム「現代に生きるキリスト教教育ー当面する課題への対応」、2008年2月23日、立教池袋中学校・高等学校

⑤星野正道、「白百合学園の建学の精神に見られる人間教育」、白百合の教育研究会、2007年7月26日、仙台白百合女子大学

〔図書〕(計9件)

①森一弘、ムゲンジャイ・マタタ他編／佐々木裕子他、教会と学校での宗教教育再考、カトリック淳心会オリエンズ宗教研究所、2009、313(pp230-251)

②佐々木裕子他、宗教文化教育に関する学生の意識調査報告書、大正大学、國學院大學、大阪国際大学、神戸大学、2009、28

③片山はるひ他編著、上智大学のこころーソフィアの源泉とキリスト教ヒューマニズム、上智大学、2009、209、(pp. 111-120).

④片山はるひ、荒井仁他編、キリスト教教育事典』、日本キリスト教団出版局、2009、431、(pp75-76)

⑤光延一郎、片山はるひ他、今、日本でカトリックであるとは？、サンパウロ、2009、521(pp. 233-279)

⑥白百合女子大学キリスト教文化研究所編／星野正道他、賛美に生きる人間、教友社、2008、298(pp. 153-177)

⑦西原廉太・片山はるひ他、現代に生きるキリスト教教育、ドン・ボスコ社、2008、70

⑧大正大学総合宗教教育研究所編／市川誠他、世界の宗教教科書 (DVDメディア)、大正大学出版会、2008

⑨井上順孝編、佐々木裕子他、「現代日本の宗教家101」、新書館、2007、238

〔産業財産権〕

○出願状況(計0件)

該当なし

○取得状況(計0件)

該当なし

6. 研究組織

(1) 研究代表者

佐々木 裕子 (SASAKI HIROKO)
白百合女子大学・文学部・准教授
研究者番号：60286888

(2) 研究分担者

星野 正道 (HOSHINO MASAMICHI)
白百合女子大学・文学部・教授
研究者番号：40384648

市川 誠 (ICHIKAWA MAKOTO)
立教大学・文学部・准教授
研究者番号：60308088
(H19→H20：連携研究者)

片山 はるひ (KATAYAMA HARUHI)
上智大学・神学部・教授
研究者番号：70266063
(H19→H20：連携研究者)

夏秋 英房 (NATSUAKI HIDEHUSA)
國學院大學・人間開発学部・教授
研究者番号：30237573
(H19→H20：連携研究者)